

個人山行 来馬岳（1040m）鉾山コース

近藤 功 記

施行日：平成 30 年 6 月 9 日（土）

参加者：河村 CL、藤木(晴)SL、澤田 SL、西田 SL、渡邊、酒井、
伊藤、鈴木、山岸、小笠原、相馬、笹山、藤木（た）、
川村、門馬、近藤・・・・・・16名

行 程：見晴台；6時30分、登山口；6時45分、発；7時9
小休憩；375m、7時40分、465m－8時15分
565m－9時0分、沢－9時10分、林道終点－
9時35分、775m－10時27分、920m－11時10分
来馬岳（1040m）頂上；11時40分、昼食大休止
発；12時25分、沢；13時20分、登山口；15時1
分

朝方霧雨で登山を心配したが、予報通り雨も上がり、
見晴台から4台に分乗、鉾山町の登山口駐車場に6時
45分に到着、登山準備と体操後、7時09分A班を先
頭に登山開始。



荒れた緩い林道を隊伍を組んで登る。



400m前後からトノ松の植林地の風倒木が目立ち、
通路を塞ぐ、SO氏、SW氏の手鋸が大活躍、邪魔な
枝を切り払い、通行可能にしてくれ、大助かり。

跨ぎ、ほふく潜り、迂回と誰かが大人の運動会だの声
植林障害物競走だね



どれ程の風が吹いた物か、想像が付かない、根の張り
が浅く、火山灰地の為、根こそぎ倒れたもの、幹の途
中で吹き折れた物等惨状に唖然とする。

コース最大の沢を9時10分に渡渉、林道終点到
9時35分到達、此处から登山道が始まる。大休止



相変わらず倒木が多い、鋸部隊有難う、笹も混んで
来た、先頭を各班交代でダニ払いも兼ねて務める。



通称クサリ場は比較的新しいロープが張っており
粘土質の足元を確認しながらロープを頼りに慎重に
上る。後は比較的緩い登山道を一路頂上に向かう。

11時40分来馬岳（1040m）頂上に立つ。

登頂の感激を笑顔でハイ“パチリ



頂上東直下 シラネあおいの群生、咲き誇る



12時15分まで昼食、男性陣は登山道の崩壊掘れこみ
地を視察確認、12時25分頂上に別れを告げ下山。

クサリ場はロープと笹を掴み慎重に通過、沢を13時
20分に渉り、途中1回の休憩で15時01分全員無事
登山口に帰着。お疲れさん。今回のルートは20数年
前市役所山岳会が開策した登山道だが、手入れをする
方が居ない状況では数年で廃道が懸念される。

登りは倒木の影響で予定より30分も超過、リーダー、
サブリーダーに感謝、有難う。満足の山行でした。